

考古学教室

銅鏡をつくろう!

復元鑄型に低い温度で溶ける金属を流し込んでミニ銅鏡をつくります。

日時 令和4年11月6日(日)
13:30~15:30
対象 小学生・中学生
定員 10名(先着順)
参加費 500円(観覧料を含む)
申込み 10月30日(日) 10:00から電話で申込み



城陽市
歴史民俗資料館友の会
おかげ踊りを広める会
会員募集!!

城陽市歴史民俗資料館友の会と、おかげ踊りを広める会では、新入会員を募集しています。会費・活動内容等、詳細については五里ごり館まで。

勾玉教室

勾玉をつくろう!

滑石を削って古代のアクセサリー・勾玉をつくります。

日時 令和4年11月20日(日)
13:30~15:30
対象 小学生・中学生
定員 10名(先着順)
参加費 200円(観覧料を含む)
申込み 11月13日(日) 10:00から電話で申込み



体験教室

正月のはし袋&
ポチ袋をつくろう!

お正月用のはし袋とポチ袋をつくります。

日時 令和4年12月18日(日)
13:30~15:30
対象 18歳以上
定員 10名(先着順)
参加費 200円(観覧料を含む)
申込み 12月11日(日) 10:00から電話で申込み

・イベント参加に際しては、発熱や風邪症状のある方はご遠慮ください。・マスクの着用にご協力をお願いいたします。



■開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休館日 月曜日(祝休日の場合は開館)
祝休日の翌日(土・日曜日の場合は開館)
12月28日~1月4日
■観覧料 おとな 200円(140円)
小・中学生 100円(70円)
<団体料金>おとな 160円(110円)
小・中学生 80円(50円)
※団体は20名様以上
※()内はプラネタリウムとの共通観覧の場合の資料館観覧料
■HPはこちら



資料館マスコット「ごりごりくん」
ごりごりくんは心優しい豪族ゴリラです。「五里五里の里」の「ごり」とその語感からゴリラをキャラクター化したものです。古墳・遺跡の多い城陽市の特徴から古墳時代を思わせる姿になっています。

関西文化の日

★印は入館無料!!!

五里ごり館 開館カレンダー 印は休館日	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
---------------------------	---	---	--

令和4年10月7日(2022年) 第26号

五里ごり館通信

五里ごり館
城陽市歴史民俗資料館(文化パルク城陽 西館4階)
〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀1番地
TEL 0774-55-7611 FAX 0774-55-7612



西山2号墳出土 三角縁獣帯四神獣鏡
(同志社大学歴史資料館蔵)



おかげ踊り絵馬(京都府登録文化財・水度神社蔵)

城陽の至宝

—原始から近世まで—

城陽市市制施行50周年記念 令和4年度特別展1



阿彌陀如来立像(城陽市指定文化財・念仏寺蔵)

令和4年10月29日(土)~12月18日(日)

期間中休館日 10月31日、11月4・7・14・21・24・28日、12月5・12日
※11月3日(木・祝)、16日(水)、12月18日(日)は観覧無料!

まりこふん「古墳トーク&ライス」

古墳の魅力についてトークと歌で体感しよう!

日時 11月12日(土) 14:00~15:30(受付13:30~)
場所 文化パルク城陽 ふれあいホール(西館2階)
講師 古墳にコーファン協会会長 古墳シンガー まりこふん氏
参加費 無料
申込 10月4日(火) 10:00から電話にて申込み

ワークショップ

プラ板で古墳のキーホルダーをつくろう!

日時 11月23日(水・祝) ①13:30~ ②15:00~
場所 工作室 対象 小学生以上
定員 各回先着5名 参加費 無料
申込 11月12日(土)10:00から電話で申込み
(お一人様につき2人まで申込み)

ギャラリートーク(展示解説)

学芸員による展示解説を行います。

日時 11月27日(日)・12月11日(日)
14:00~15:00
場所 特別展示室
参加費 無料(観覧料必要)
申込 当日資料館受付にて申込み

京都府
指定
文化財



冨山1号墳出土 人物埴輪
(京都府立山城郷土資料館蔵)

古墳時代

宇治市南部から城陽市北部にかけての丘陵や扇状地上には、古墳時代をとおして100基以上の古墳が築造されました。これらをまとめて「久津川古墳群」と呼びます。近年の発掘調査成果として芝山古墳群や、今年度に新たに京都府指定文化財に指定された冨山1号墳出土品などを紹介します。



芝山古墳群出土
船載方格規矩八咫鏡
(公財)京都府埋蔵文化財調査研究センター蔵



芝山古墳群出土 蛇行剣
(公財)京都府埋蔵文化財調査研究センター蔵

京都府
暫定登録
文化財

城陽市
指定
文化財



大將軍神像(巨椋神社蔵・当館寄託)

城陽市
指定
文化財



阿彌陀如来立像
(念佛寺蔵)

平安時代

平安京と南都（奈良）を結ぶ中間地点にあった城陽市域は、平安時代の文学作品に地名が出てくるほか、貴族の日記などに道中の景色として登場します。市域を南北に通る木津川と街道（奈良街道）を利用する旅人の間に、方角を司る大將軍への信仰が生まれ、その過程で制作されたと考えられるのが巨椋神社の大將軍神像です。人々が行き交う交通の要衝である城陽市域に伝えられた祈りの文化財を紹介します。

江戸時代

当時の城陽市域には、12の村が存在しました。そのうち、長池は京都と奈良を結ぶ大和街道の宿場町として大いに賑わいました。江戸時代中後期には、さまざまな文化活動が繰り広げられ、各地との交流も活発になりました。

城陽市の文化財を通して江戸時代の歴史や文化について紹介します。



國家講看板



神楽講看板

参詣講看板(中川憲一氏蔵)

京都府
登録
文化財

旅籠松屋関係資料 1,283点のうち



神明講杯



日丸講杯

参詣講杯(中川憲一氏蔵)



京都亥ぼし講印鑑札
参詣講印鑑札(中川憲一氏蔵)